

遠近両用2週間交換 終日装用シリコンハイドロゲルレンズ

エア オプティクス® プラス ハイドラグライド® マルチフォーカル



レンズの特徴

- アルコンマルチフォーカルコンタクトレンズ共通のレンズデザイン「プレジジョン・プロファイル・デザイン」により、近くから中間、遠くまで自然でクリアな見え方※1を実現
- 幅広い老視患者への適応を可能にする3種類の加入度(LO・MED・HI)
- うるおいベールを形成するハイドラグライドモイスターマトリックスにより、うるおい長持ち※1

基準データ

USAN	lotrafilcon B	製造方法	モールド製法
構成モノマー	ベタコン、TRIS、DMA	カラー	ライトブルー
ソフトコンタクトレンズ分類	グループ I (非イオン・低含水)	中心厚	0.08mm (-3.00D の場合)
酸素透過係数(Dk※2)	110×10^{-11}	刻印	加入度LO: BL+数字2桁
酸素透過率(Dk/t※3)	138×10^{-9}		加入度MED: BM+数字2桁
含水率	33%		加入度HI: BH+数字2桁

レンズ制作範囲

ベースカーブ	8.6mm
球面度数	+5.00D 0.00D -10.00D 0.25D間隔 0.25D間隔
加入度数	LO、MED、HI
直径	14.2mm

包装

製品	6枚入	トライアルレンズ	3枚入
----	-----	----------	-----

※1 個人差があります ※2 (cm²/sec)・(mLO₂/mLxmmHg) ※3 (cm/sec)・(mLO₂/mLxmmHg)

処方手順

患者選択

「エア オプティクス® プラス ハイドラグライド® マルチフォーカル」が適応しやすい患者を選択し、レンズや見え方の特徴などを十分に説明してください。

適応しやすい患者

- ① 現在ソフトコンタクトレンズを装用している初期老視の方
- ② 近方が見づらくなり、コンタクトレンズの遠用度数を弱めに調整している方
- ③ 全乱視が1.00D未満の方
- ④ マルチフォーカルコンタクトレンズに装用意欲のある方
- ⑤ 老眼鏡を使用することに抵抗のある方
- ⑥ これまでのマルチフォーカルコンタクトレンズでは見え方に不満のある方

適応しにくい患者

- ① コンタクトレンズの経験がない方
- ② 全乱視が1.00D以上の方
- ③ ハードコンタクトレンズを装用している方
- ④ 非常に精密な視力を要求する方

適応しやすい患者を選択し、以下のポイントを十分に確認・説明してください

Point 1. 「エア オプティクス® プラス ハイドラグライド® マルチフォーカル」の使用環境をご確認ください。

Point 2. マルチフォーカルコンタクトレンズでの見え方についてご説明ください。

Point 3. 個人差もありますが、数日間レンズを装用した後に見え方が良くなることをご説明ください。

①
問診

②
屈折検査
などの前検査

③
トライアルレンズ
の選択

④
フィッティング
評価

⑤
レンズ処方
の決定

処方手順

自覚的屈折矯正値の測定

過矯正に注意して最良視力の最もプラスよりの度数を選択してください。

遠用度数・加入度の選択

遠用度数は自覚的屈折矯正値(乱視がある場合は等価球面度数)、
加入度はLOを選択してください。

※±4.00D以上は角膜頂点間距離補正が必要です。

頂点間距離補正表 (簡易版)

眼鏡度数	眼前 12mm	
	-	+
4.00	3.75	4.25
4.25	4.00	4.50
4.50	4.25	4.75
4.75	4.50	5.00
5.00	4.75	
5.25	5.00	
5.50	5.00	
5.75	5.25	
6.00	5.50	
6.25	5.75	
6.50	6.00	
6.75	6.25	
7.00	6.50	
7.25	6.50	
7.50	6.75	
7.75	7.00	
8.00	7.25	
8.25	7.50	
8.50	7.75	
8.75	8.00	
9.00	8.00	
9.25	8.25	
9.50	8.50	
9.75	8.75	
10.00	9.00	
10.25	9.00	
10.50	9.25	
10.75	9.50	
11.00	9.75	
11.25	9.75	
11.50	10.00	

● 遠方・近方の見え方の満足度を確認してください

レンズ装着後、10～15分程度経過してから追加補正を行ってください。

必ず両眼開放検査で行ってください。

ファーストライアルで十分な満足度が得られなかった場合

処方手順

-▶ ファーストトライアルで十分な満足度が得られなかった場合

患者の訴え・見え方に対し、下記の処方フローに沿って追加補正・加入度の変更を行います。
またその際、**優位眼の確認テスト**を行ってください。

